

2023年8月10日発行

鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願ひ致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第139号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



八代経済開発同友会 令和5年度 スローガン

議論を重ねて、 それぞれの未来を重ねよう

八代経済開発同友会 第59代 代表幹事
村田 眞一郎

昨年度、「まずは、議論から始めよう そして、想定外の未来を創造しよう」というスローガンのもと八代経済開発同友会の代表幹事として活動させていただきました。限られた時間の中で、議論を尽くすための機会を十分に設けることができたとは言えませんが、その中でも、様々な意見や見方に気付かされることが多くありました。今年度は、さらに核心に迫る議論の場を設けられればと考えます。

とはいえ、県北の企業誘致による急速な発展と環境変化は待たない状態です。その影響は良いことも悪いことも合わせて大きなものと予想されます。議論をして足元を見つめている場合ではないということも事実です。一方では進みながら考えることも必要です。この熊本県で起こっている、言ってみれば外圧による急激な変化は、なかなか変化することに慣れていない地方都市が抱える課題をさらに浮き彫りにし、否応なくすぐにも対応しなければならない状態になりました。急激な変化を利用し成長に結びつけるのか、大きな波にのまれ淘汰されるのか、問われる事になります。

TSMCの進出による産業の下支えは、ソサイエティ5.0を前提にすればしばらくは期待できます。八代市も新八代駅周辺を中心にした開発と物流拠点などの用地整備を加速させるための推進本部を設置しました。その背後にある八代の未来像を確実に実現するには、各界で共有し、それぞれの役割を十分に発揮する必要があります。

一方で、その八代の未来像は、必ずしも県央、県北を中心とした開発の受け皿としてだけではないはずです。十分なポテンシャルを持つ八代は、当然独自の、唯一無二の未来像があるはずです。それを実現するのは、我々自身だという認識で進みたいと思います。真実を見通す力を持ち、情報のみで惑わされず、我々独自の明るい未来を描きたいと考えます。

そのための前提として、今年度は、議論をさらに深め現実的な行動へ移すための基盤を早急に整備する必要があります。コロナ禍と戦争等で、前提としていた

これまでのグローバリズムや持続可能な社会のあり方も変容しているかも知れません。個人主義が地域社会性を凌駕する中、さらにその変化は加速したようにも感じます。すでにあるコミュニティの中でITの技術を使ってより深いコミュニケーションを実現し、さらにこれまで関わりが少なかったコミュニティ同士を繋ぐことで、これまでとは違う新しいコミュニティが生まれます。我々も、最新のテクノロジーを駆使して新しい絆を生み出すことができれば、八代市内の活性化はもちろん、広域の活性化が実現すると考えます。それは、情報の共有が例えば労働力の共有を実現するように、人流自体もこれまでとは違うものを生み出すことができると考えます。

本年の活動は、八代市の独自の良さを活かした未来を実現するために、これまで以上に八代経済開発同友会会員間の交流を促進し、同友会としての未来像を描くことはもちろん、さらには、周辺地域、関係団体、そしてギャップがあるとされる世代間がもつそれぞれの望む未来像を共有することで、八代の未来の全体像を描きながら、外部と連携することで実現を図ります。

さらに、本年は八代経済開発同友会の60周年の節目の年でもあります。当会は時代と共に、変化し進化し続けてきました。生活環境、経済環境の変動を受けそれに対応し、今では地域でも独自のポジションを確立しつつあります。我々八代経済開発同友会が、八代の経済団体としてのみならず、八代市民として輝かしい八代の未来像を提示できればと考えています。そして、この60年の軌跡を祝いつつ、50周年に描いた夢をよりアップデートし、会員企業のみならず八代市、周辺地域のより輝かしい未来の実現に具体的な一歩を踏み出し邁進してまいります。

行政の皆様、各関係諸団体の皆様とは、輝かしい未来ある八代の実現のため、より連携を強化し共に協力しつつ、これまで以上のご指導、ご支援を賜りたく存じ上げます。

委員会基本方針

八代・天草シーライン建設促進委員会

委員長 田 添 尊 祐



蒲島知事が会長の八代・天草シーライン建設促進協議会が発足し、一昨年前は上天草市、昨年は八代市で八代・天草シーライン構想推進大会が開催され、実現に向けて期待がますます高まっています。

本年度、八代・天草シーライン建設促進委員会は、八代・天草シーラインの建設に必要な調査費をつけてもらえる事を第一に考え、八代・天草シーライン建設促進民間協力期成会を始め他団体や行政とこれまで以上に連携を強化し、八代・天草シーライン建設促進協議会へ要望を行っていききたいと思います。それには地元の盛り上がりが必要ですので、他団体と協力し、県南・天草地域の事業所はもとより、行政を巻き込んで社用車等にステッカーを貼り認知度を高め、様々なイベントにも積極的に参加し広報活動を行い、今まで以上に八代市のみならず県南・天草地域の住民の意識向上、機運の盛り上がりに取り組みたいと思います。

八代・天草シーラインの実現に向けて一歩でも近づけるためには、八代経済開発同友会会員皆様のご協力が必要不可欠ですのでご協力の程よろしくお願い致します。

組織活性化委員会

委員長 守 田 邦 宏



本年60周年を迎える年となります。節目の年を迎えこれまで以上に、志を同じくする会員の増強を図ることは、活力ある地域づくりに直結すると確信します。また併せて会員の方々の活発な活動は、幸福感のある企業と活力ある地域づくりに貢献すると考えます。これまでコロナ禍の中、会員同士の交流も図りづらい環境ではありましたが、本年度はより深い会員交流による、組織活性化に取り組む必要があると考えます。

まずは年間を通じ未入会の企業様へ当会の想いや取り組みを伝えることで、入会へつながるよう取り組んでまいります。また長寿をお祝いすると共に、対象会員の経験や考えなどをお聞きし、会員の成長や相互理解につなげます。会員の成長や相互理解を深めることは、本年度取り組んでいく各活動に対する積極性を高め、組織の活性化につながると考えております。そして地元選出の国会議員より国の考えや方向性また、今後変化するであろう国や地方の動きなどの情報を享受することで、各企業の成長の一助となるべく、事業に努めます。あわせて、会員交流を深める取り組みも行い、地元企業の考えや希望、要望などの意見交換を行う事業を実施します。

会員の交流を通じた組織の活性は、単に八代経済開発同友会の中だけに留まらず、他団体との交流や行政との交流の活性につながります。経済団体を含めた多くの他団体との交流の活性や行政との強いつながりは幸福感ある企業の創出と八代地域の活力につながると確信しております。

次世代の未来をつくる委員会

委員長 富 晃 之 介



昨年度、本委員会は、地元高校生にスポットを当て、今を生きる高校生が八代の現在の課題をどのように捉え、未来に向けてその地域課題解決のために何をすべきかを考えてもらうために、「第一回やつしろ高校生

未来会議」を開催しました。高校生未来会議を通して、高校生の皆さんが、中心市街地の活性化や人と人の心が通うコミュニケーションがある地域を望んでおり、私たち現役世代と共通の思いをもっているということが分かりました。

さらに、委員会設置当初、「次世代」とは何を指すのかを議論した際、八代地区における子どもたちを取り巻く課題（経済面や不登校、虐待問題など）もまた、私たち八代経済開発同友会が関心を持ち、その解決策について考えるべき事項ではないかという話が出ていましたので、その点の研修例会を行いたいと考えます。

そこで、本年度の当委員会では、①やつしろ高校生未来会議の2年目の形の模索（八代市との連携、改良とバージョンアップ）②八代地区の青少年を取り巻く環境課題の把握と当会がなすうることに関する研修を2つの柱とします。

①については、八代市との共同実施や会議のあり方に関する検討、高校生からの提案に対して我々がどのようにこれを実現していくか、今後どのような形で継続性を持たせるかの検討が必須です。

②については、青少年を取り巻く環境について、専門家を招いて研修例会を実施します。

本年度の当会スローガン「議論を重ねて、それぞれの未来を重ねよう」のもと、八代市の独自の良さを生かした将来像を描くため、周辺地域、関係団体、世代間で情報交換・連携することで、この地域の未来創造にコミットしたいと考えています。

まずは委員会における親睦交流を行い、委員の皆様と目的意識を持った議論を重ね、それを八代地区の未来創造の取組につなげることができればと思っています。一年間どうぞよろしく申し上げます。

八代魅力発信委員会

委員長 古田 浩二



TSMCの進出により熊本は急激な変化を迎えています。八代市では、新駅周辺を物流拠点とする用地整備が加速され、経済的発展が見込まれています。新型コロナウイルスが2類から5類に引き下げられ、国内外の観光需要が高まることでしょう。行政やDMOは、時代の変化に合わせ、未来図を描き、発信を行っていますが、輝かしい未来あるやっしろに繋がるのか期待が持てません。生産人口が減少する中、やっしろのポテンシャルを活かし、すべての市民が期待できる真の未来図を描く必要があります。

まずは、八代市と連携して、今後の八代市の将来図を共有します。その後、会員と八代市の未来図を共有し、外圧による急激な変化をチャンスにできる企業の増加を目指します。また、DMOと連携して、八代市の魅力を共有します。そして、八代経済開発同友会目線で、やっしろの魅力を発信していきます。また、2016年にユネスコに登録された八代妙見祭は、やっしろの宝であります。約400年続く伝統ある祭りを、一人でも多くの人たちに発信し、盛り上げるためにも、5年前から開始した妙見宮灯籠点灯式を行います。

最後に、1年間という限られた時間ですが、会員同士また、行政や多くの他団体との議論を深め、やっしろの魅力を一緒に発信します。そして、地域活性の一助となることで、輝かしい未来あるやっしろを創造します。

情報システム委員会

委員長 岡崎 晶

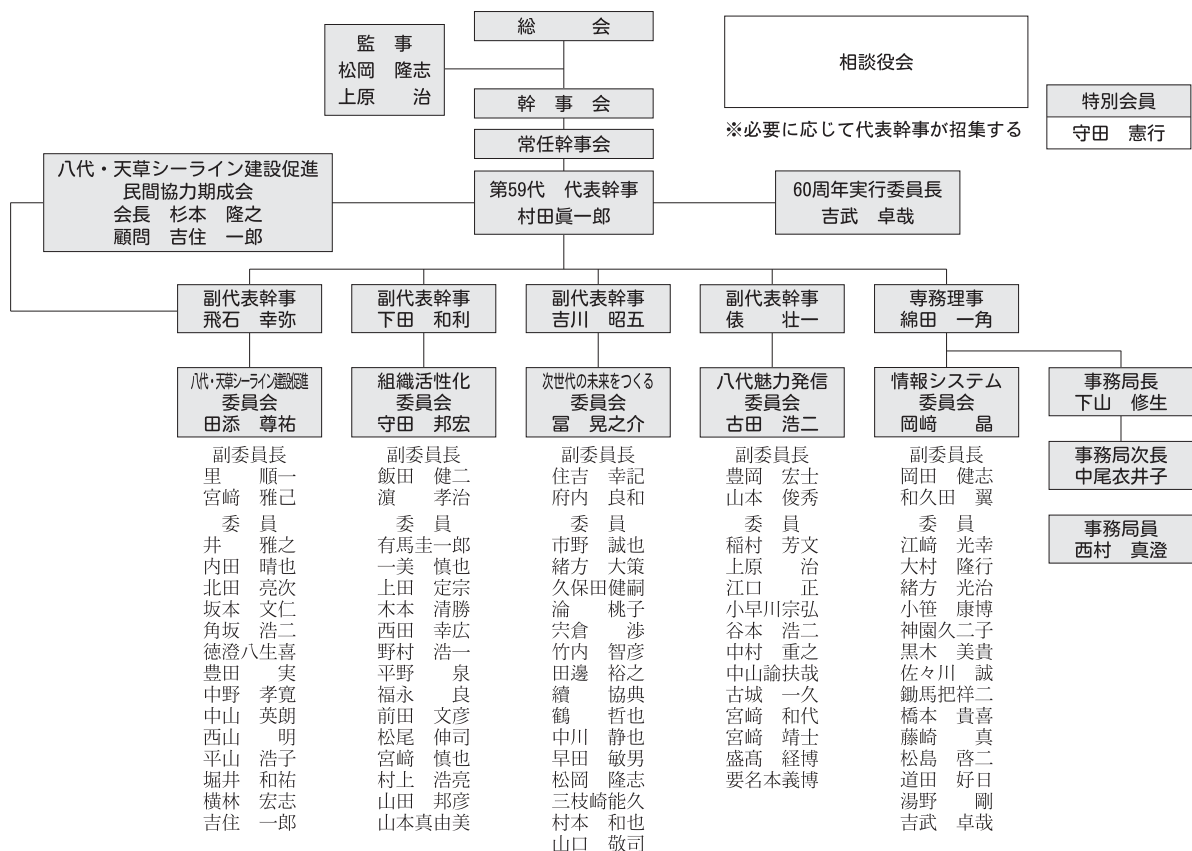


各団体が、地域の方々へ事業の情報や目的などの浸透を試行錯誤されています。また、八代経済開発同友会内において、所属委員会以外の活動内容の共有が十分ではありません。DX等の推進で当会員間の交流がより活性化され、それぞれの強みを持つ各団体が横断的に結びつき、情報共有が進むことで、効率的な情報発信が期待されます。

まずは、会員が他の委員会を含め全体の活動を共有できるように、会内のDX化を進め、会員同士のより深いコミュニケーションを目指します。また、各団体の情報発信方法を調査し、共有と発信の連携方法を検討します。そして、広い範囲の世代と地域へ効率的に情報発信するために、他団体との相互協力体制を構築します。また、各委員会が目的に合わせてスムーズに情報を発信できるように、SNS利用に関するフローチャートを作成します。そして、見る人に興味を持たせるために、投稿方法を研究し、検証します。さらに、多くの人に情報を伝えるために、新たなフォロワー等の獲得運動を推進します。

委員会の枠を超え、議論を重ねて活性化した当会と、相互協力により繋がる多団体の輪が広域に広がることで、八代地域の活性化につながります。

令和5年度 八代経済開発同友会組織図



交代会員紹介



谷本 浩二 会員

48歳

熊本中央信用金庫 八代支店
支店長

今年の12月に創立100周年を迎える熊本中央信金庫の谷本浩二です。八代は2度目の配属になり、妙見締め懐かしさを感じました。

同友会メンバーとして地域貢献できればと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。



中野 孝寛 会員

56歳

株式会社 肥後銀行 八代支店
執行役員 八代ブロック統括店長
兼八代支店長兼八代市場支店長兼
田中町支店長

この度、肥後銀行八代支店でお世話になります中野です。

八代に来て早いもので数ヶ月が過ぎ、八代の方々に教えていただきながら色々経験させて頂いております。

皆様の役に立てるよう尽力して参ります。

宜しくお願い致します。



西山 明 会員

51歳

熊本第一信用金庫 八代支店
支店長

令和4年10月に転勤して参りました。中小企業の皆様の発展を現場で精一杯応援し、八代の発展に微力を尽くして参ります。宜しくお願いします。



福永 良 会員

58歳

NTT西日本 ビジネス営業部
八代営業支店
支店長

4月から入会いたしましたNTT西日本の福永です。

出身は八代市長田町で太田郷小→二中→八代南高校(二期生)卒業です。

14回目の転勤でやっと地元へ戻ってきました。

今までもこれからもずっと「I love 八代」ですのでよろしくお祈りします。



府内 良和 会員

46歳

大熊本証券株式会社
支店長

今年4月より八代に赴任してまいりました。

長年にわたり八代の経済に貢献されてきた八代経済開発同友会に迎えて頂き、大変光栄に思います。

微力ながら八代の発展に尽力してまいり所存です。

宜しくお願い致します。



松島 啓二 会員

39歳

東京海上日動火災保険株式会社
熊本支店八代支社
支社長

神奈川県鎌倉市出身、妻と6歳の息子、3歳の娘の4人で4月より八代に参りました。八代の発展、安心、挑戦を支えるため“リスクと補償・不安と安心のギャップを埋める”ことがモットーです！この度、この素晴らしい八代経済開発同友会のお仲間に入れていただき、大変嬉しく、身の引き締まる想いです。微力ながら八代のために邁進する所存ですので、公私ともにこれからどうぞ宜しくお願い致します。

新会員紹介



稲村 芳文 会員

56歳

株式会社 イナムラ
代表取締役

皆さま、こんにちは。新会員の榊イナムラ 稲村芳文と申します。主に酒・贈答品小売業、不動産賃貸業を営んでおります。趣味は、日本100名城巡り、酒蔵巡りと酒飲み、国内外旅行、ハーレー乗り、下手なピアノです。何卒、宜しくお願い致します(笑)



緒方 大策 会員

39歳

緒方産業開発社 Home Healer
代表者

こんにちは。私は、八代郡水川町にて害虫駆除及び対策業務を行っております。緒方産業開発社 HomeHealer 代表の緒方大策と申します。某、名門しろあり駆除業者にて15年学び、白蟻防除をはじめ様々な害虫・害獣・鳥獣の駆除・対策を行う専門事業所となります。

近年、異常気象が原因とされる害虫の大量発生など、住宅への被害も増えてきており早期の対策が必要な場合が数多く見受けられます。自社では、駆除・対策施工はもとより今後のアドバイスも含めメリット・デメリットまでお伝えさせて頂いております。お困りの際は是非当社までお問い合わせください。ホームヒーラーはお世話になる方々に、安心と確かな品質をお約束いたします。